

1. A S V (先進安全自動車) 推進検討会

国土交通省では、産・学・官で協力して、A S V技術の開発を促進するとともに、普及を促進するため、A S V推進検討会(座長：井口東大名誉教授)を設置し、平成13年度から5年計画で第3期A S V計画を推進しております。

	第1期A S V	第2期A S V	第3期A S V
実施期間	平成3年度から5年間	平成8年度から5年間	平成13年度から5年間
目的	技術的可能性の検証	実用化に向けた環境整備	技術開発の継続 普及促進への取り組み (死亡事故4割削減)
検討車種	乗用車	全車種(乗用車、トラック、バス、二輪車)	
検討対象技術	・自動車単独	・自動車単独 ・道路インフラとの連携	・自動車単独 ・他車両等との連携 ・道路インフラとの連携
検討項目	開発目標の設定 事故低減効果の検証	基本理念の整理 開発指針等の設定 事故低減効果の検証	次世代技術の開発 ・自律型自動車の高度化 ・通信技術の活用技術の開発 普及促進 ・普及方策の検討 ・実用化指針の策定 ・A S V技術の国際化
成果の報告	・デモ走行、展示(19台) ・I T S世界会議	・デモ走行、展示(35台) ・I T S世界会議	・デモ走行、展示 ・I T S世界会議 ・その他

参考：A S V (Advanced Safety Vehicle)

最新のエレクトロニクス技術によって、自動車が高度な情報収集、情報処理とこれに基づく情報提供、警報、車両制御など運転支援ができる先進安全技術を搭載した自動車、すなわち高知能化した自動車のことをいいます。

2. I T S 世界会議

(1) 世界会議の概要

日米欧の3極が持ち回りで、毎年秋に開催する国際会議。世界約50カ国から、道路交通、情報通信等に関する大学、行政、企業からの専門家が、3000人~5000人規模で参加し、最新の研究開発・普及に関する情報や意見を交換してきた。

日本のI T Sは、産学官が連携して推進しており、産学で構成されるI T S J a p a nが民間側の中心となり、官側は、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省の4省庁が推進している。

(2) 2004 年 I T S 世界会議概要

2004 年 I T S 世界会議は、日本の名古屋にて、10 月 18 日から 24 日までの 7 日間開催される。会場は、開会式 (18 日) を愛知芸術文化センターで、発表・展示・閉会式を名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや) で実施する。

3 . A S V としての H 1 5 年度広報活動

	E S V 国際会議	第 37 回 東京モーターショウ	第 3 期 A S V 中間報告会
実施 時期	2003 年 5 月	2003 年 10 ~ 11 月	2004 年 3 月
対象	交通安全分野の専門家 (自動車のパッシブセーフティの技術者)	一般市民 (一部 : メディア関係者)	メディア関係者
実施 内容	A S V デモ装置による A S V 技術の紹介 A S V 紹介の展示パネル アンケート調査	A S V デモ装置による A S V 技術の紹介 A S V 紹介のデモステージ A S V 紹介の展示パネル アンケート調査	A S V 活動のプレゼンテーション、意見交換など メディア関係者との懇談 実用化 A S V 搭載車両の展示 デモ装置、A S V 各社の展示